

# 福井市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム

## 1 目標

福井市建築物耐震改修促進計画（計画期間：～令和18年3月）に定めた住宅の耐震化率の目標である「概ね解消」に向けて、住宅所有者の負担軽減を目的とした支援制度の充実や、耐震化の必要性の周知および支援制度の普及の促進により、耐震化を促進することが重要です。

福井市では、市政広報やパンフレット、耐震改修工事の現場見学会などの出前講座等のほか、市内全域において戸別訪問等による広報活動を継続して実施し、住宅の耐震化を促進していきます。

このため、福井市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム（以下、「アクションプログラム」という。）では、毎年度、住宅の耐震化に係る取り組みを位置付け、その進捗状況を把握・評価するとともに、プログラムの充実・改善を図り、住宅の耐震化を強力に推進することとします。

## 2 位置付け

アクションプログラムは、福井市建築物耐震改修促進計画第3章第5項に基づき策定します。

## 3 取組内容・目標・実績

計画

### 令和8年度取組み内容

#### 【財政的支援】

- (1) 住宅の耐震診断等費に対する補助を実施
- (2) 住宅の耐震改修工事費に対する一部補助を実施
- (3) 耐震シェルター設置に要する費用の一部補助を実施
- (4) 住宅の除却に要する費用の一部補助

#### 【普及啓発等】

- (1) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進
  - ・令和8年度は市街地を中心に約1,600戸の戸別訪問を実施
  - ・納税通知書内に事業案内を掲載し送付（約13万件）
- (2) 耐震診断実施者に対する耐震化促進
  - ・耐震診断の結果報告及び補強プラン作成時に、耐震改修費の概算費用の提示
  - ・耐震診断を実施した者に対して、電話やDMによりフォローアップを行うことで、耐震化を促進
- (3) 改修事業者の技術向上等
  - ・県と合同で実施する現場見学会において、改修工法等に関する知見を共有することで、改修事業者の技術力向上を図る
  - ・耐震改修事業者の名簿を公表
- (4) 市民への周知普及
  - ・耐震改修の必要性をホームページ、広報誌等により周知
  - ・市民を対象に出前講座、現場見学会などの説明会を開催
  - ・チラシにより支援制度等の周知を実施

### 令和8年度目標

- ・木造住宅の耐震診断等費補助戸数 18戸
  - ・木造住宅の耐震改修工事費補助戸数 42戸
- 耐震改修、耐震シェルター設置、除却を含む

### 前年度までの実績

(単位：戸)

年度	木造住宅の耐震診断等費補助戸数	木造住宅の耐震改修工事費補助戸数
R7	200	80
R6	200	21
R5	28	4
R4	15	5
R3	20	7
R2	21	4
R元	30	7
H30	32	10
H29	44	13

自己評価

### 前年度（令和7年度）の取組み実績

- ・既成市街地内を中心とした戸別訪問を1,601戸実施
- ・支援制度の普及に向けた現場見学会や出前講座、パネル展等を開催
- ・広報誌に支援制度案内を掲載
- ・広告付行政情報モニターによる支援制度案内
- ・耐震診断実施者へ電話やDMによるフォローアップを実施

### 前年度（令和7年度）の課題

- ・令和6年能登半島地震により市民の耐震化への意識が高まり、耐震診断の補助申請数が増加した。今後は耐震化につながる耐震改修工事への補助により耐震化を促進する検討が必要である。

### 改善策

- ・普及啓発活動を継続的に実施するとともに、耐震改修工事への補助継続や耐震性がない住宅の除却に対する補助新設などの新たな取組により、耐震化の促進を目指す。